

# SOA技術を実装した データセントリックソリューション

伊藤正裕\*  
大江信宏\*  
山永康昌\*

Data-Centric Solution with SOA Technology

Masahiro Ito, Nobuhiro Ohe, Yasumasa Yamanaga

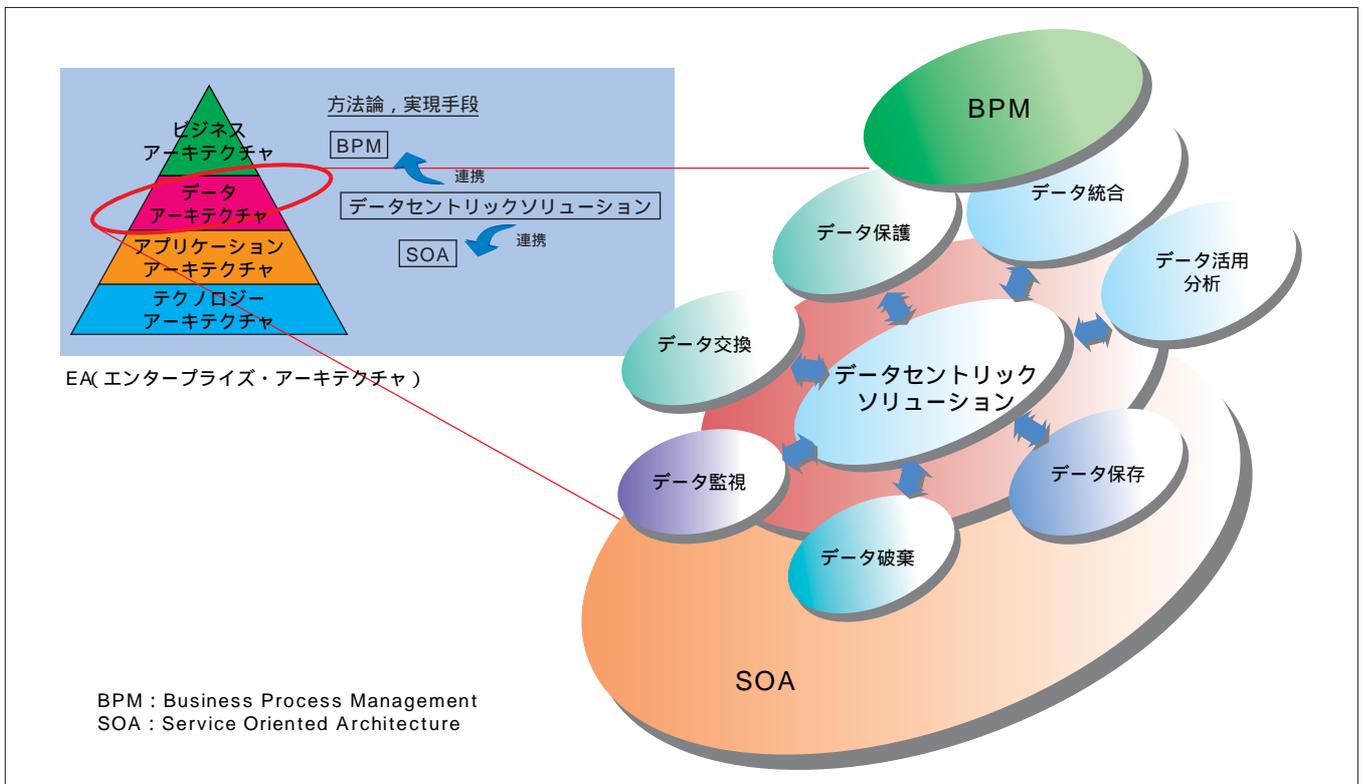
## 要 旨

企業のIT投資において、個々の情報システムの部分最適化から情報システム全体の最適化を目指すためのITマネジメントフレームワークにEA(Enterprise Architecture)があり、EAでは4つのアーキテクチャ(ビジネス、データ、アプリケーション、テクノロジー)が定義されている。三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)(MDIT)は、EAの中で企業の情報資産の核であり将来にわたって重要となる“データ”に注目し、データを中心としてビジネスの変化に対応し企業内データの柔軟な利活用と適切な管理ができるソリューションとして、データセントリックソリューションを提供している。

このデータセントリックソリューションを更に強化するため、ビジネス環境の変化に伴ったビジネスプロセスの変更や拡張を迅速に行うためのシステム設計手法であるSOA

(Service Oriented Architecture)技術を実装した。

SOAは、より柔軟で、変化に強い情報システムを構築するための設計手法である。例えば、情報システムを“注文受付”“在庫照会”“出荷指示”などの比較的大きな機能の単位(サービス)の集まりとしてとらえ、これらのサービスを、標準化されたメッセージ交換手順で、互いに連携させることができる。どう連携させるかは、サービスの外側の仕組みで実現できる。このSOAの考え方、技術をデータセントリックソリューションに実装することで、パッチ的なデータの連携だけでなく、リアルタイムの連携を可能とした。これにより、レガシーアプリケーション資産をリアルタイムに活用できるシステムのフレームワークとして、データセントリックソリューションは更に進化していく。



## データセントリックソリューション

MDITは、エンタープライズアーキテクチャのデータアーキテクチャ層に着目してソリューションを提供している。データセントリックソリューションは、BPM及びSOAへの連携を行っていく。